

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成26年12月17日 午後7時00分から午後9時30分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 第1会議室
- 4 出席者 内山長雄委員、金子隆博委員、北澤美恵子委員、清住洋子委員、児玉卓文委員、小林裕美委員、斎藤勇一委員、桜井久美子委員、下村利枝子委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、廣川光子委員、伏見貴昭委員、柳沢裕子委員
【欠席委員】6名
- 5 市側出席者 渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、犂山市民生活課長兼健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、児玉武石教育事務所長、佐藤地域政策係長、青井統括主査、(政策企画課)翠川政策企画課長、大矢政策企画担当係長
- 6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成27年1月26日 作成部局課名 地域振興課地域政策係

協 議 事 項 等

- 1 開 会 (竹内副会長)
- 2 あいさつ (清住会長)
皆さんこんばんは。諮問事項、協議事項と盛りだくさんの協議内容があります。よろしくお願ひします。
では、以前もやったことのあるジャンケンをしましょう。きき手ではないほうの手でじゃんけんし、負けてください。(数回行う)
- 3 諮問事項
(1) 第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しに係る諮問の事前説明について(政策企画課)
～政策企画課長あいさつ～
地域協議会の皆様、地域のこと、市政のことに関しまして、御尽力御協力賜りありがとうございます。
本日、私どもが参りましたのは、「地域まちづくり方針」見直しに関する件です。概略を申しますと、資料冒頭にありますように、現在の第一次総合計画は合併してから平成27年までの8年間の計画で平成27年度を以って終了となります。次の計画は、本年度から第二次総合計画の策定作業に入ります。平成26年9月に第1回の第二次総合計画審議会(全大会)を開催し、60名の委員の皆さんに御就任いただきました。今月19日第3回の部会を開催し、いよいよ総合計画の内容に従って部会ごとの割り当てや具体的な審議に入っていく状態です。
本日、地域協議会の皆様にお願ひに上がったのは、部会と平行して総合計画の一部となる「地域まちづくり方針」の見直し、新たな策定をしていただきますが御協力をお願いします。
早いもので新上田市合併して10年となります。人口減少、少子高齢化社会にどう対応するのか、今後の10年間の計画、10年を見据えた策定に御協力をお願いします。
それでは、担当の大矢から説明させていただきます。
- ～政策企画担当係長から説明～
【質疑・意見等】
・ なし

4 報告事項

(1) 武石地域経営会議設立に向けた先進地研修視察の報告について(武石地域経営会議設立に向けた調査研究部会)

～児玉部会長から報告～

【質疑・意見等】

・ なし

(2) 平成27年度 組織改正(案)について

～渋沢センター長から説明～

【質疑・意見等】

(委員) 武石地域自治センター職員は何名いるのか。

(センター長) 健康福祉課は10名。建設課は2名だが1名減る。他の組織は全体で38名。臨時職員も入れれば47～8名になる。

(委員) 組織は縮小するのか。

(センター長) そのとおり。

(委員) 機能、サービスが低下しなければ良いが、職員が少なくなり、兼務も大変かと思う。年数経つほど職員が減って数十名とは寂しい。

(センター長) 先の視察先の甲賀市は平成16年の合併と早かった。旧市町村の大小あるが、9名から12名という各支所の配置。他は本庁集約。県内の市町村合併したところを見ても、合併した次の日から縮小している実情です。地方分権といってもどれだけの職員で維持してやっていけるのか難しい。事務サービスの低下がないように業務を行っていきたい。

(会長) 他に質問、要望はありますか。

(委員) 少人数になったとき、武石地域自治センター庁舎の老朽化による改築の余地はないのではないか。公民館に入って業務を行うのか。公共施設マネジメントの対象は。

(次長) 地域自治センター、公民館、健康福祉課等を合築する方向で検討している。規模は決まっていない。

5 協議事項

(1) 専門部会

(会長) 専門部会は各会場に分かれて9時まで会議を行い、その後集まり話し合いの報告をお願いしたい。各部会記録を書き止めて、会議終了後は事務局へ提出していただきたい。

【議題ごとに協議】

武石地域経営会議設立に向けた調査研究部会

武石地域全域公園化構想推進部会

活発な地域づくり部会 ～おらほの武石づくり～

～各部会長から本日話し合った内容を発表～

武石地域全域公園化構想推進部会

(部会長) なかなか進まない。来年度以降のスケジュールを組んでやっていきたい。手っ取り早く出来るのは前回の話し合いの中でセンター長から上田市百景の募集を兼ねてそれを具体化していく。武石のお気に入りの場所の写真を募集して11月の武石文化祭に写真を展示しながら全住民に再度理解していただき、話に花が咲くような形でやっていきたい。

公園化構想で一番の定義、理念は武石地域の豊かな自然だと思っているので、環境保全、景観保全という前提のもとにこれから武石に住んでよかった、訪れてよかったと思う人を増やしていこう。ということをもとめていきたいと思っている。

そんな中、武石小学生のカルト大会に大変有意義なものがあるので、それを利用してもらい、武石の自然、景観が良いので、電線の地中化、電柱がない景色も考えたいと話合った。余里の花桃の里のことでは、旧家、古民家も見てもらえるように余里の家の方に提案したいと話した。

【質疑・意見等】

(委員) センター長が武石観光協会にも関わっているというが、パンフレットを作ることが公園

化構想からも両方から出ている。個々で行うより、武石観光協会と一緒に全部がつながってよいものが出来るように御指導願えたらと思う。

武石地域経営会議設立に向けた調査研究部会

(部会長) 甲賀市が平成16年に合併し自治振興会なるものを各地域で作ってくださいと説明会に行政が入ったのが平成22年だ。それから翌平成23年度中に立ち上げてくださいという。地域住民にしたらものすごいスピードである。

上田市の組織改正と同じくらいのスピード。その速さで出来る、やれるのであるなら、甲賀市に習って地域内組織内容を平成32年といわず、もっと明確に打ち出してもらいたい。審議も必要だがきちんと作り、自信をもってやるぞと、本気で説明できる担当職員、説得できる体制をとらないと、なかなかできない。27年度には上田市から明確なイメージを出してもらいたい。いずれはこういう組織を自分たちで作りながら仕事をしていかないと、今のようなサービス、福祉はこれから受けられなくなってしまう。見通しを持って新しい自治組織を作っていくといけない。そういう話をした。

【質疑・意見等】

- ・ なし

活発な地域づくり部会 ~おらほの武石づくり~

(委員) 今日は地域協議会だよりの話が出た。昨年度は発行したが来年出すのか、わがまち魅力アップ応援事業のことを昨年度は載せなかったが、今年、今回は載せたいと話があった。それから、今までのことを振り返った話をした。

【質疑・意見等】

- ・ なし

6 その他

(1) 「第3回武石花祭り」の開催(わがまち魅力アップ応援事業)について

(委員) 第3回武石花祭りを4月29日水曜日祝日に計画、わがまち魅力アップ応援隊・武石風土つながり隊他3団体がつながり開催する。武石公園の大宮諏訪神社ブースの中で気負いせずに活動内容を発表する機会があったらよいと思っている。来年、再来年は御柱祭があるので開催が難しいだろう。今年は私の協議会任期が最後になるかもしれないのでお話しておきたい。花祭り発表の場に「わがまち魅力アップ応援事業」の事例発表の場を作ってもらえたらうれしい。そう事務局に話した。

武石地域全域公園化構想推進部会の報告の中で児玉委員がお話ししていた、武石八景企画が大宮諏訪神社で披露され、武石の皆様に見ていただけたら、協議会活動を理解していただける。これに参加していただける意欲ある方いらっしゃいましたら集まりたいと思う。

(2) 議会決議オフトーク廃止条例について(渋沢センター長)

(センター長) 先日15日に議会が閉会して、武石地域オフトーク通信条例の廃止が可決となった。2月末にオフトーク通信が終了するのでお伝えしたい。

【質疑・意見等】

(委員) オフトークの廃止は武石地域の皆さんは周知のことか。

(事務局) 今まで地域自治センターだよりで2回、市ホームページ等でお知らせしたり、自治会長会においても説明はしている。

(委員) 2月以降はどうなるか。

(事務局) 地域自治センターだよりで等でもお知らせはしているが、当面は「広報うえだ」、「上田市ホームページ」、「上田市メール配信サービス」等で確かめていただく。丸子テレビの11チャンネルデータ放送等である程度、情報を流していく。オフトークに代わるシステムは、上田市全体で方向性が決まらなると出来ないことなので、武石地域単独での伝達方法の計画は考えているが実施できない状況である。

(委員) オフトーク通信は他の地域でも終わりか。

(事務局) NTTがサービスを終了するので、他の地域も同様。

(委員) 東御市の新しいシステムは。

(事務局) 東御市はFMで情報伝達している。

- (委員) 災害が起きた時、早い情報がないと不安に思う。自己防衛では限界を感じる。
- (委員) 周知、広報に書いてあると言っても武石地域で知らない、見ていない人もいて、行き届いていないと思う。オフトークを聞いていない人たちがいるが、火事でサイレンが鳴った、救急車、消防車が近くを通った時、放送設備等で放送があれば分かるが、携帯メールで確認はなかなかしない。オフトークの安心感はちがう。
- (センター長) 武石地域としても何年も色々な方式を考えて、本庁でも議論してきたが、市全域をカバーする方法ということで検討中である。
この中で携帯電話を持っている方がほとんどだと思うが、この11月から災害の関係で地震が起きると自動的にアラームが入るようになっている。災害に関して上田地域に入っている人は自動的にメールが入るようになる。そういうシステムができた。ぜひ配信サービス登録をお願いしたい。携帯電話を持たない人、高齢者にどうするか、自治会や防災組織を通じて対応したり、こちらから廻ってお知らせしたりを考えている。いつどこで、夜の災害もあるので、ありとあらゆる手段を考えていかないといけない。オフトークで100%カバーは出来ない。
- (委員) 高齢者も多くなり、行方不明の事案、捜索対応事例システムの放送は早いほうが良いと思う。
- (センター長) 行方不明の捜索は分からないが、火災現場のお知らせは今、個人宅を特定できないように放送している。例えば、公民館から100メートル先とか分からないようにしている。高齢者行方不明者捜索は、例えば黄色い服を着て長靴を履いていてというくらいで個人名は言わない。メールでも配信するが個人情報の難しいところ。市長とも協議し色々な方法を考えたい。
- (会長) その他として、委員の皆さんからありますか。
- (委員) 青少年健全育成で各地区で活動していた花壇緑化活動はどうしたらよいか回答をお願いしたい。
- (教育事務所) 公園化構想、公園緑地化、自治会を対象にした花木の配布等、上田市全体で無料で配布できる方法が3つくらいある。年明けには公園化構想で苗の募集受付をする。
- (委員) 青少年育成活動でやめる自治会が出ている。原因は何か。
- (教育事務所) 少子高齢化で主な活動をする子どもたちがいないことが一番の原因。藪合地区では小学校6年生がゼロになると聞いている。予算の関係では、武石地域だけが花壇の苗の予算を市から70~100万円出して配布していた。上田市全体のバランスからするとおかしい。無料配布するシステムがあるから特別に予算を付けることは出来ないと、行政改革推進委員から言われたことも一つ。根本的な原因は少子化のためです。
- (委員) 活動をやめる地区の空いてしまう花壇は今後どうするのか。
- (教育事務所) 青少年健全育成事業でやっていた花壇事業は止めるが、その代わりに、自治会、高齢者クラブ、有志なり個人がやるならば、苗木無料配布、運営予算は支出する。取り止めになった花壇のうち、当面は武石公民館で実施するが、すでに2つくらい手を挙げている団体がいる。また来年度に向かって公募、アイデアを募集したり、地域協議会のモデル地区として皆さんが年2回くらい出て花作らないかと話をしたいと思っている。花壇を継続のところ、形は変わるが花壇事業は続く。
- (委員) 花を作っても一銭にもならない。管理が出来ないところは荒地になる。草刈もいきとどかないだろう。花は作らないほうがいい。
- (教育事務所) 草刈はしていただいて景観は良くしていただきたい。

次回会議の日程等について

- ・ 協議の結果、第11回は1月21日水曜日、午後7時から午後9時までと決定する。
場所は、武石地域自治センター2階第1会議室で行う。

6 閉会(竹内副会長)